

確かな学びと豊かな心・健やかな体をはぐくむ **学校力向上プラン【学校評価書】**

堺市立上神谷支援学校
校長 徳 和則

令和7年度 重点目標 (1) 個々の児童生徒の気持ちに寄り添い、自立活動を基盤としたニーズに応じた支援を行うこと (2) 主体的・対話的で深い学びの視点に立った教育活動 (3) 支援学校教員としての指導力・専門性の向上 (4) 支援学校のセンター的機能の充実とインクルーシブ教育システムの構築												
学校の現状 小学部でめざすこと) 低学年は、様々な遊びなどを通して教師との深く強い関係を築くことで学校生活を楽しむ態度を育成する。また、その取り組みの中で日常生活の基本的な習慣を身につけていく。 高学年は、低学年で築き上げた教師との信頼関係をもとに、クラス活動等を通して日常生活のスキルの力を養う。また、教科学習等で行われる多様な集団で少しずつ自己コントロールする力を養っていく。 中学部でめざすこと) 中学部は、地域の学校から進学してきた生徒が加わり、様々な障害や発達段階の集団となる。小学部・小学校で学んできたことの積み重ねの上に、自分の生活に見通しと目標をもち、仲間と協力して自信をもって行動する態度を育成する。各教科の特色を生かした活動及び様々な集団での仲間との活動を通じ、自立と社会参加をめざし、将来の生活に役立つ力やさらに生涯にわたって生活を豊かにする力を養う。												
大項目	中項目	具体目標	具体的な取組	判断基準 (評価のものさし)	評価方法	評価時期	進捗確認		達成状況			
									自己評価		学校関係者評価	
確かな学び	基づく学習指導 子ども理解に	児童生徒一人ひとりの実態把握を確実にし、教職員間の情報共有を密にすることで適切な指導と必要な支援に努める。	学年会議や小学部・中学部別の事例研究を通じ、子ども理解を進める。年4回の授業づくり研修を実施する。	主に教職員及び保護者対象の学校アンケート	学校教育アンケート	3学期						
	専門性の向上	校内研修を実施し、教職員の指導力・専門性の向上を図る。	年4回の授業づくり向上のための校内研修を含め、全校的な授業研究会を実施する。授業づくりの他、自立活動理解、ICT活用、外部専門家の取組共有、人権教育、自閉症理解、発達理解、道徳教育の研修等に取り組む。	教職員対象の学校アンケートや研修全体反省会	学校教育アンケート	3学期						
豊かな心・健やかな体	障害の改善・克服	「個別的教育支援計画」や「個別の指導計画」の理解を深め、作成する上で、チームとして検討し、児童生徒のニーズに応じていく。	合理的配慮の記載等、個別的教育支援計画等の理解を深め、児童生徒の実態把握を十分に行ったうえで、保護者と共有しながら的確な目標設定に基づく指導に努める。	主に保護者対象の学校アンケート	学校教育アンケート	3学期						
開かれた学校づくり	センター的機能の充実	外部専門家派遣事業を活用するなどし、幼稚園、小・中学校、高等学校への地域支援を充実させる。	地域支援として、ST・OTと連携し、相談業務を50回以上行い、その他にも独自の相談活動を実施する。	数値目標に沿う評価と夏季の公開研修に対するアンケート	数値目標	3学期						
	家庭や地域との連携	毎日の連絡帳や学校からの情報発信並びに教育相談等により保護者との連携を図る。	連絡帳や教育相談等から、保護者の思いや悩みについて理解し、課題に対応する。 できる限り1日1記事、HPに発信する	教職員及び保護者対象の学校アンケート、HP発信数	学校教育アンケート 数値目標	3学期						
		近隣校との学校間交流、居住地での居住地校交流を推進する。	近隣校への啓発を含めた、学校間交流を近隣校と相談の上、実施する。また、居住地校への案内を行い、居住地校交流を実施する。	交流についての教職員アンケートや教職員等への実施状況聞き取り調査、居住地校交流の実施回数	実施状況聞き取り調査	3学期						
校長より)									学校関係者評価者から			